

# 令和元年度 九州高等学校文化連盟

## 第3回全九州高等学校総合文化祭宮崎大会 放送部門

### 第41回九州高校放送コンテストならびに校内放送活動研究集会 宮崎大会

## 実 施 要 項

### 1 目的

現代に生きる高校生の豊かな人間性の育成と、未来への展望を持つ人間としての成長をめざし、あわせて、九州地区における校内放送活動の健全な育成と放送教育の推進をはかる。

### 2 ねらい

- (1) 美しく豊かな日本語を大切にする心情を育て、あわせて、話す力・表現する力を高める。
- (2) 校内マスコミの送り手としての自覚と創造性を育てる。
- (3) 学校生活の中にうるおいをもたらし、心のふれあいの場をつくる。
- (4) 現代社会における人としてのあり方・生き方を学ぶとともに、放送の果たす役割を考える。
- (5) 九州地区における校内放送活動の向上をはかる場をつくる。

**3 主催** 九州高等学校文化連盟・宮崎県高等学校文化連盟

**4 共催** 宮崎県教育委員会・NHK宮崎放送局・都城市

**5 主管** 九州高等学校文化連盟放送専門部・宮崎県高等学校文化連盟放送専門部

**6 会場** 都城市総合文化ホールM J  
〒885-0024 宮崎県都城市北原町 1106 番地 100  
TEL 0986-23-7140 FAX 0986-23-7143

**7 大会事務局** 全九州高等学校総合文化祭 放送部門 事務局 山田 <sup>あきこ</sup> 聡子  
〒885-0033 宮崎県都城市妻ヶ丘町 27 街区 15 号 都城泉ヶ丘高等学校内  
TEL 0986-23-0223 FAX 0986-24-5884  
E-Mail a\_yamada@miyazaki-c.ed.jp

8 大会日程 令和元年12月13日(金)～15日(日)

	時間	概要	会場(都城総合文化ホールMJ)
13 (金)	*13:00～13:30	*総合受付	*メディキット演劇ホール(宮崎市)
	*13:30～15:00	*総合開会式	*メディキット演劇ホール(宮崎市)
	13:20～16:20	部門受付	総合受付(ホール1階ギャラリー)
	15:20～17:20	運営委員会(開催県・各県代表)	会議室1(創作練習棟1階)
	17:30～18:00	審査委員会	ワークルーム(創作練習棟1階)
14 (土)	9:10～9:25	出場受付(アナウンス/ラジオ/テレビ)	総合受付(ホール1階ギャラリー)
	9:30～9:50	開会行事	大ホール
		(1)開会のことば	
		(2)主催者挨拶	
		(3)審査員紹介	
		(4)優勝杯返還・レプリカ授与	
		諸注意・諸連絡	
10:00～13:00	アナウンス部門準決勝	中ホール	
10:00～17:10	ラジオ番組部門準決勝	会議室1・ワークルーム(創1階)	
10:00～17:10	テレビ番組部門準決勝	大ホール	
12:45～13:00	出場受付(朗読)	総合受付(ホール1階ギャラリー)	
13:30～17:00	朗読部門準決勝	中ホール	
17:20～17:50	校内放送活動研究集会①	大ホール	
15 (日)	8:00	決勝進出者・決勝進出作品発表	大会ホームページで発表 *開場後、会場入り口に掲示。大会本部にて各県代表顧問にプリントアウトを配布する。
	9:10～9:25	決勝出場受付(全部門)	総合受付(ホール1階ギャラリー)
	9:50～10:50	アナウンス部門決勝	中ホール
	9:50～12:00	ラジオ番組部門決勝	会議室1・ワークルーム(創1階)
	9:50～12:00	テレビ番組部門決勝	大ホール
	11:00～12:10	朗読部門決勝	中ホール
	12:20～12:50	講評(校内放送活動研究集会②)	大ホール
	13:00～13:40	閉会行事	大ホール
		(1)成績発表・表彰	
(2)主催者挨拶			
	(3)次期開催県挨拶(熊本県)		
	(4)閉会のことば		
	諸連絡 各種配布(表彰状・講評用紙)	総合受付(ホール1階ギャラリー)	

9 コンテスト実施部門・エントリー数・決勝進出数

部門	エントリー数	決勝進出数
アナウンス	72名(各県8名 ただし福岡県・開催県は12名)	20名程度
朗読	72名(各県8名 ただし福岡県・開催県は12名)	20名程度
ラジオ番組	40作品(各県5作品)	10作品
テレビ番組	40作品(各県5作品)	10作品

## 10 表彰

	アナウンス	朗読	ラジオ番組	テレビ番組
優勝	1名	1名	1作品	1作品
	優勝杯・賞状			
準優勝	1名	1名	1作品	1作品
	トロフィー・賞状			
第3位	1名	1名	1作品	1作品
	トロフィー・賞状			
優良賞	各部門決勝進出17名程度		各部門決勝進出7作品	
	賞状			
奨励賞			各部門5作品程度	
			賞状	
入賞 (全参加者)	全エントリー			
	賞状			

## 11 校内放送活動研究集会

各部門についての講評及び研修と九州各県高校放送部活動の報告などを実施し、文化交流を深める。

## 12 参加資格

- (1) 開催年の12月現在、九州各県高等学校文化連盟加盟校に在学する生徒（ただし高等学校最終学年及びそれに該当する学年を除く）。また、以上の生徒が制作した作品に限る。
- (2) 各部門への参加は、各県高等学校文化連盟放送専門部の推薦によるものとする。
- (3) アナウンス・朗読部門への参加は、1名1部門とする。
- (4) 番組部門への参加は、1校1作品とする。ただし各県大会については、その限りではない。
- (5) 他のコンテストに出品した作品は、本大会に参加できない。また、本大会に出品した作品を、他のコンテスト等へ出品することは認めない。

## 13 各部門の課題・参加規定

### (1) アナウンス部門

- ① 自校のニュースや解説など、高校生活を語る若者の声を内容とし、原稿は自作したものに限る。
- ② エントリー番号・氏名を含め、1分10秒以上、1分30秒以内でアナウンスする。  
\*学校名は読まず、エントリー番号に続けて、発表者の氏名を読む。

### ③ 審査基準

- A) 校内放送に使用できる内容であること
- B) 審査の視点

#### ◆内容

- (ア) 素材の選び方は適当であるか。
- (イ) 文章表現は適当であるか。

#### ◆アナウンスの技術

- (ア) 自然な発声で、ニュースが聞き手に伝わるようにアナウンスしているか。
  - ・発声 ・発音 ・マイクの使い方
- (イ) 意味を正しく伝える抑揚表現ができているか。
  - ・内容把握 ・プロミネンス ・アクセント ・イントネーション
- (ウ) 間（ポーズ）は適切か。
  - ・テンポ ・ポーズ
- (エ) 歌い上げ・作り声・バスガイド調など、不自然なアナウンスは高く評価しない。

- C) 100点法で総合的に採点する。

## (2) 朗読部門

① 次の指定課題 4 作品から 1 作品を選び、朗読する。作品の脚色は一切認めない。

作品番号	1	2	3	4
書名	星やどりの声	星火瞬く	ちいさな言葉	山の郵便配達
著者名 (訳者名)	朝井 リョウ	葉室 麟	俵 万智	ポン・ヂェンミン (大木 康)
出版社	角川文庫	講談社文庫	岩波現代文庫	集英社文庫

② エントリー番号・氏名・作者名・作品名を含め、1分30秒以上、2分00秒以内で朗読する。  
\*学校名は読まず、エントリー番号に続けて、発表者の氏名・作者名・作品名を読む。  
\*作品番号3と4については、短編名を読み、書名は読まない。  
\*作品番号4については、作者を「ポン・ヂェンミン」と読み、訳者名は読まない。  
\*抽出は文頭から開始し、文末で終了すること。一文途中での開始や終了は「変更したもの」とみなす。本文中の( )内は省略してはいけない。

### ③ 審査基準

#### A) 審査の視点

##### ◆内容

- (ア) 作品の選定は適当であるか。
- (イ) 朗読として適切な部分を抽出しているか。

##### ◆朗読の技術

- (ア) 自然な発声で、場面や心情が聞き手に伝わるように朗読しているか。
  - ・発声 ・発音 ・マイクの使い方
- (イ) 意味を正しく伝える抑揚表現ができているか。
  - ・内容把握 ・プロミネンス ・アクセント ・イントネーション
- (ウ) 間(ポーズ)は適切か。
  - ・テンポ ・ポーズ
- (エ) ドラマ調・演劇調・一人芝居調など、過度に演出されているものは高く評価しない。

B) 100点法で総合的に採点する。

## (3) アナウンス部門・朗読部門に共通する事項

- ① 原稿3部を、後述の「**14 参加申込/各部門提出物/締切一覧**」で指定した期日までに提出する。ただし、原稿は返却しない。
- ② 規定の用紙(様式1-1、1-2)を使用し、袋とじ(仕上りA5判)とする。第1頁を表紙とし、本文は、第2頁以降に記入する。表紙の部門名上部の○を指定の色で塗りつぶす。アナウンスは「青」、朗読は「赤」とする。
- ③ 準決勝・決勝ともに、各自の原稿に、大会パンフレット記載の「課題原稿」を加えて発表する。

## (4) ラジオ番組部門

- ① 作品は、6分30秒以上、7分00秒以内とする。
- ② 作品の最後に「制作は○○高校放送部(委員会)でした」とクレジットコールを入れる。
- ③ クレジットコールには、BGM・SEなど他の音声が重なってはいけない。
- ④ 計時は、最初の音からクレジットコールの終わりまでとする。
- ⑤ 作品のメディア(媒体)・データ形式・作成方法は、以下のとおりとする。
  - A) CD-RにCD-Audio形式で作成する。
  - B) トラックは1つのみとする。
- ⑥ 番組進行表の表紙上部の○枠は「赤」で塗りつぶす。
- ⑦ 審査用CD-R1枚・バックアップ用CD-R1枚を作成し、それぞれに規定の情報(様式2)を記載する。作品はそれぞれ別のケースに入れ、規定のラベル(様式2)を貼って大会受付時に提出する。ただし、作品・番組進行表は返却しない。

## (5) テレビ番組部門

- ① 作品は、7分30秒以上、8分00秒以内とする。
- ② アスペクト比は、16:9（ワイド）とする。
- ③ テレビ局等の第三者が撮影した素材を主とする作品は、失格とする。
- ④ 作品の前後5秒間に、規定（様式3）のテストパターンを入れる。テストパターンは、大会ホームページよりダウンロードして使用する。
- ⑤ 作品は、再生ボタンで再生が始まるようにする。メニューを入れない。
- ⑥ 計時は、テストパターン（カラーバー）を除いた本編部分について行う。
- ⑦ 作品のメディア（媒体）・録画方法・データ形式・作成方法は、以下のBD-RもしくはDVD-Rのいずれかとなる。
  - A) ハイビジョン形式…BD-R（BD-RE形式・MPEG-2またはMPEG-4 AVC/H.264）とする。
    - ・BD-Rは、必ずクローズ（ファイナライズ）処理を行い、追記できないディスクにする。
  - B) SD形式…DVD-R（DVD-Video形式）とする。
    - ・家庭用HDレコーダーでDVD-Videoを作成した場合は、必ずクローズ（ファイナライズ）処理を行い、汎用のDVD再生機で再生できる状態にする。
- ⑧ 作品提出の際、データの互換性に留意し、作成した機器だけでなく、市販のプレイヤー等複数の機器で再生できることを確認の上、提出する。
- ⑨ 番組進行表の表紙上部の○枠は「青」で塗りつぶす。
- ⑩ 審査用メディア1枚・バックアップ用メディア1枚を作成し、それぞれに規定の情報（様式2）を記載する。作品はそれぞれ別のケースに入れ、規定のラベル（様式2）を貼って大会受付時に提出する。ただし、作品と番組進行表は返却しない。

## (6) ラジオ番組部門・テレビ番組部門に共通する事項

- ① 高校生活に素材を求めた作品、あるいは高校生活と地域社会とのかかわりを考えた作品で、高校生の視点で描いた独創的な作品であり、それぞれのメディアの特性を生かした作品とする。ドラマ調の場合、出演者は自校生徒、かつ前述の「12 参加資格」の条件を全て満たす者のみに限る。
- ② 審査基準
  - A) 校内放送に使用できる内容であること
  - B) 審査の視点
    - ◆テーマ（伝えたい内容）
      - 高校生ならではの視点で、高校生を取り巻く環境の中からテーマを設定し、それを番組の中で効果的に表現しているか。
    - ◆制作技術
      - (ア)メディア選択                      (イ)制作方法                      (ウ)取材の方法や努力
      - (エ)企画・構成                      (オ)演出・編集                      (カ)音声や効果音の使い方
      - (キ)内容伝達力                      (ク)番組進行表の作成
  - C) 100点法で総合的に採点する。
- ③ 作品のタイトルは、副題も含めて15文字以内を厳守する。
  - \* 作品名が英数字のみの場合は、半角文字で最大30文字（スペース含む）までとする。
- ④ 番組進行表は、後述の「17 様式規定」で作成し、「14 参加申込／各部門提出物／締切一覧」で指定した期日までに1部を提出する。
  - 1頁（様式4-1）学校名・作品名・時間・制作意図（200字程度）・スタッフ／キャスト（学年）
  - 2頁（様式4-2）必要枚数を綴じ合わせたCUEシート
  - 3頁（様式4-3）使用著作物一覧
    - \* 必要に応じ、音源使用許諾（様式4-4）・取材許諾・著作物提供許諾（様式4-5）を添付する。
    - \* 必要に応じ、著作権処理確認資料（右上に著作物番号を朱書きする）を添付する。
- ⑤ 作品のメディア本体にはラベルを貼らず、以下の項目をディスク自体に直接記載（プリンタによる直接印字／ペンによる手書き）する。バックアップには「バックアップ」と明記する。
  - ①部門名    ②エントリー番号    ③県名    ④学校名    ⑤作品名    ⑥メディアの種類
- ⑥ 作品の中で用いる音楽・絵画・写真等の著作権を伴う著作物については、著作権・著作隣接権の処理を本大会開始までに確実に済ませておく。特に音楽は、自作自演もしくは著作権フリーの楽曲を用いることが望ましい。著作権を伴う著作物については、一覧を番組進行表の末尾に添付する。

- ⑦ いわゆる著作権フリーの音源素材等であっても、インターネット上のものを利用することは厳禁とする。なお、著作権フリー素材とインターネット上の素材の使用については、「校内放送研究
- ⑧ 第 66 回 NHK 杯全国高校放送コンテストならびに校内放送活動研究集会（以下、NHK 杯とする）要項」の p.20 で定めたものと同じとする。
- ⑨ JASRAC への手続きと支払いは出場校が行い、関係書類のコピーを番組進行表の末尾に添付する
- ⑩ 参加作品の著作権は、制作者（応募した学校）に帰属する。
- ⑪ その他の詳細に関しては、NHK 杯要項の p.17～21 の注意事項に準じる。様式等については、本大会規定のものを使用する。
- ⑫ 本大会に出品するラジオ番組・テレビ番組の制作意図（番組進行表に記載）は、各県事務局が規定のファイルにまとめて入力し、後述の「14 参加申込／各部門提出物／締切一覧」で指定した期日までに提出する。
- ⑬ 決勝では、作品再生前に代表生徒が登壇する。進行係が学校名と作品名のみ発表する。

#### 14 参加申込／各部門提出物／締切一覧

- (1) 大会事務局への参加申込など全ての事前提出は、各県事務局が一括して行う。
- (2) 参加申込には、別紙のエントリー番号を使用する。番号の割り振りは、各県専門部で行う。
- (3) 参加校顧問…下記の①～⑦を、指定の宛先に提出（データ送信／郵送／振込／持参）する。

	内容・様式	宛先	提出方法		提出締切 (必着)
			データ送信	郵送	
①	学校参加申込データ *	各県放送専門部事務局	○		11/20 水
②	エントリーデータ	各県放送専門部事務局	○		11/21 木
③	アナウンス・朗読原稿 3 部／番組進行表 1 部	各県放送専門部事務局		○	各県指定
④	番組制作意図データ	各県放送専門部事務局	○		11/22 金
⑤	全部門共通参加申込書（共通様式 2）	各県高文連事務局		○公印	11/25 月
⑥	弁当代金納入	業者指定口座		口座振込	業者指定
⑦	番組作品 1 枚・バックアップ 1 枚	大会受付		持参	12/13 金
【備考】 *①「学校参加申込」は、出場権獲得校の出場意志の表明／確認に利用する。各県独自の様式を利用しても良い。					

- (4) 各県放送専門部事務局担当者…下記の⑧～⑪を、指定の宛先に提出（データ送信／郵送）する。

	内容・様式	宛先	提出方法		提出締切 (必着)
			データ送信	郵送	
⑧	全九州高総文祭推薦書（共通様式 1） *	各県高文連事務局	○	○公印	11/5 火
⑨	エントリーデータ（〇〇県）	大会事務局	○		11/22 金
⑩	番組制作意図データ（〇〇県）	大会事務局	○		11/25 月
⑪	アナウンス・朗読原稿／番組進行表（〇〇県）	大会事務局		○	11/28 木
【備考】 *⑧の提出⇒各県高文連から出場校に派遣依頼を送付⇒⑤の提出⇒開催県高文連が取りまとめる、という流れ。					

#### 15 その他

- (1) 宿泊・弁当については、学校（同宿の場合には各県）単位で、下記の業者に連絡してください。
- (2) 注文した弁当の代金は、学校単位で下記の振込先に一括納入してください。

##### 【放送部門担当】

(株)サポート 野口 伸 TEL 0985-33-9217 FAX 0985-20-4965

宮崎銀行本店営業部(店番 020) 普通口座番号 285894 「株式会社サポート 代表取締役 野口久美子」

## 16 エントリー番号一覧

県名	アナウンス	朗読	ラジオ番組	テレビ番組
宮崎	5・9・17・25・ 32・36・45・48 ・53・58・63・ 72	2・11・20・26・ 33・36・42・45 ・56・59・64・ 69	1・9・17・25・ 33	8・16・24・32 ・40
熊本	1・16・24・33・ 40・51・55・64	8・12・17・28・ 34・53・60・71	5・13・21・29 ・37	4・12・20・28 ・36
大分	3・13・21・34・ 41・46・57・69	7・15・19・27・ 38・51・61・66	2・10・18・26 ・34	7・15・23・31 ・39
長崎	8・11・18・29・ 37・52・61・67	6・14・22・29・ 37・49・55・72	6・14・22・30 ・38	3・11・19・27 ・35
佐賀	7・12・19・28・ 38・54・60・66	1・10・23・30・ 40・47・62・70	3・11・19・27 ・35	6・14・22・30 ・38
福岡	4・10・23・26・ 30・39・42・47 ・50・59・62・ 71	3・9・18・25・ 35・39・43・48 ・52・58・65・ 68	7・15・23・31 ・39	2・10・18・26 ・34
沖縄	2・14・20・31・ 43・49・56・68	5・16・24・31・ 41・50・54・63	4・12・20・28 ・38	5・13・21・29 ・37
鹿児島	6・15・22・27・ 35・44・65・70	4・13・21・32・ 44・46・57・67	8・16・24・32 ・40	1・9・17・25・ 33

## 17 様式規定

	様式番号	内容
規定1 アナウンス・朗読	1-1	表紙（右頁）・原稿用紙（左頁）
	1-2	アナウンス・朗読部門 原稿用紙
規定2 ラジオ・テレビ	2	ラベル
規定3 テレビのみ	3	テストパターン／カラーバー（16：9／HD・SD仕様）
規定4 ラジオ・テレビ 番組進行表	4-1	表紙（制作意図・スタッフ・キャスト・確認欄）
	4-2	CUEシート
	4-3	使用著作物一覧
	4-4	音源使用許諾申請書（参考様式）
	4-5	取材許諾・著作物提供許諾申請書（参考様式）
*規定4は全てA4サイズ。左上1箇所をホチキスで綴じる。両面印刷不可。		

\*上記の規定様式は、宮崎県高等学校文化連盟放送専門部ホームページ内

「第3回全九州高等学校総合文化祭宮崎大会放送部門ホームページ」

<http://miyazaki-h-broadcast.net/>からダウンロードできます。